

北海道防災会議地震火山対策部会 地震専門委員会

【第13回】 減災ワーキンググループ

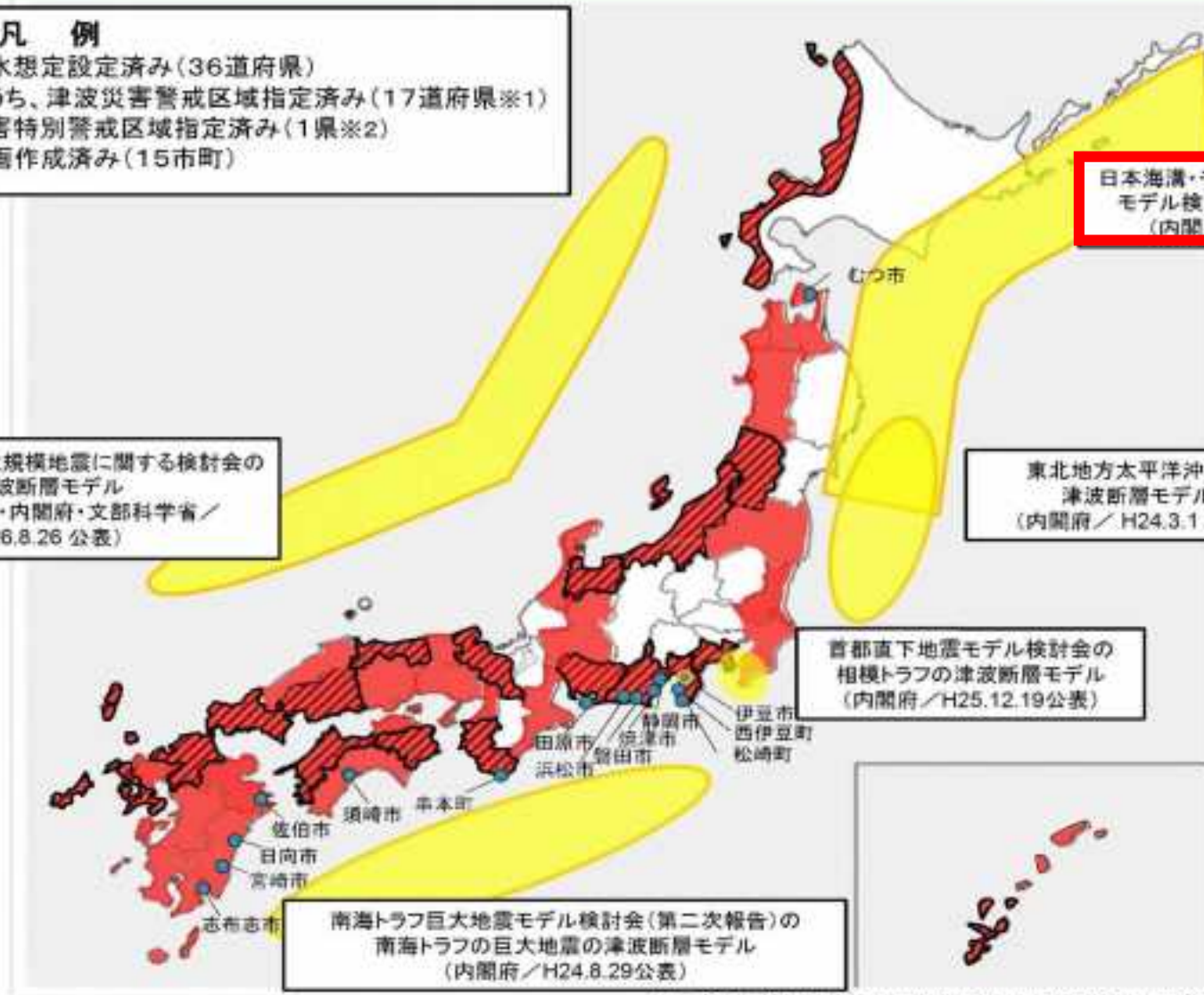
報告 1 : 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルについて

1. 津波法に基づく全国の津波浸水想定の設定状況

津波浸水想定の設定、津波災害警戒区域の指定及び推進計画の作成状況

令和2年6月1日現在

- 凡例**
- ...津波浸水想定設定済み(36道府県)
 - ...上記のうち、津波災害警戒区域指定済み(17道府県※1)
 - ...津波災害特別警戒区域指定済み(1県※2)
 - ...推進計画作成済み(15市町)



日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会の津波断層モデル
(内閣府／R2.4.21公表)

R02.4公表

日本海における大規模地震に関する検討会の津波断層モデル
(国土交通省・内閣府・文部科学省／H26.8.26公表)

東北地方太平洋沖地震津波断層モデル
(内閣府／H24.3.1公表)

首都直下地震モデル検討会の相模トラフの津波断層モデル
(内閣府／H25.12.19公表)

南海トラフ巨大地震モデル検討会(第二次報告)の南海トラフの巨大地震の津波断層モデル
(内閣府／H24.8.29公表)

※1 北海道、新潟県、神奈川県、静岡県、和歌山県及び愛媛県は一部の市町村において指定
※2 静岡県伊豆市の1市にて指定

2-①. 内閣府：日本海溝・千島海溝沿いにおける最大クラスの地震の検討（基本的な考え方）

東日本大震災の教訓を踏まえ、津波堆積物調査などの科学的な知見をベースに、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波を「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」において検討

最大クラスの地震の検討対象領域

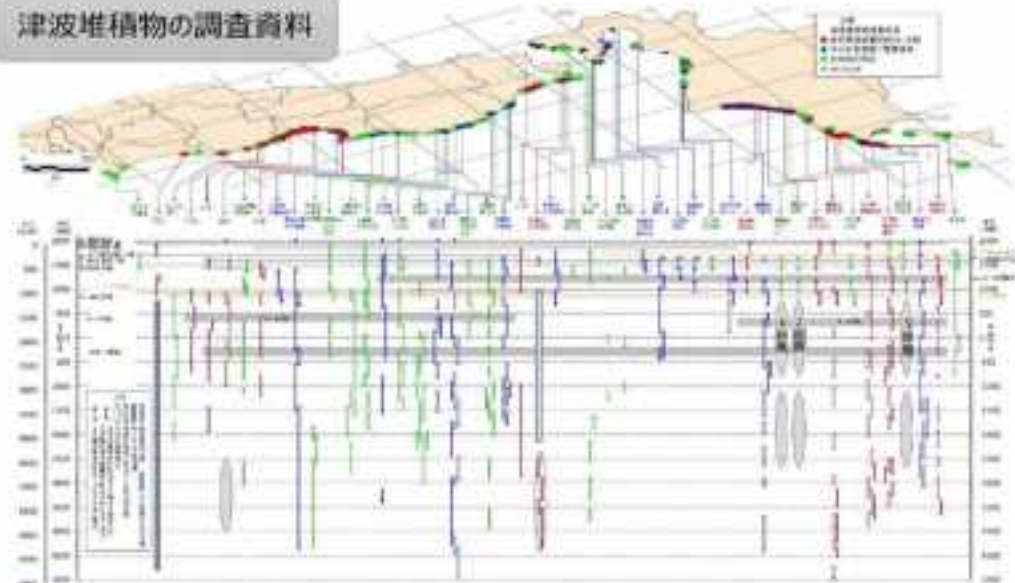
- ・東北地方太平洋沖地震の大すべり域の中心領域に隣接する日本海溝の北部から千島海溝にかけて検討。

最大クラスの巨大地震モデルの検討方針

【過去地震資料】

- ・古文書等 ⇒ 資料が不足
- ・地震規模とすべり量の関係 ⇒ M 9以上の適用が難しい
- ・津波堆積物 ⇒ 概ね過去6千年間の調査資料

津波堆積物の調査資料



【日本海溝における津波の履歴】

- ・1611年慶長三陸地震あるいは17世紀の巨大な地震
- ・12～13世紀に巨大な地震
- ・869年貞観地震と同時代、4～5世紀などにも巨大な地震の痕跡

【千島海溝における津波の履歴】

- ・約6500年間に18回の巨大地震の痕跡
- ・直近では17世紀に巨大な地震
- ・12～13世紀、869年貞観地震と同時代、3～4世紀などにも巨大な地震の痕跡

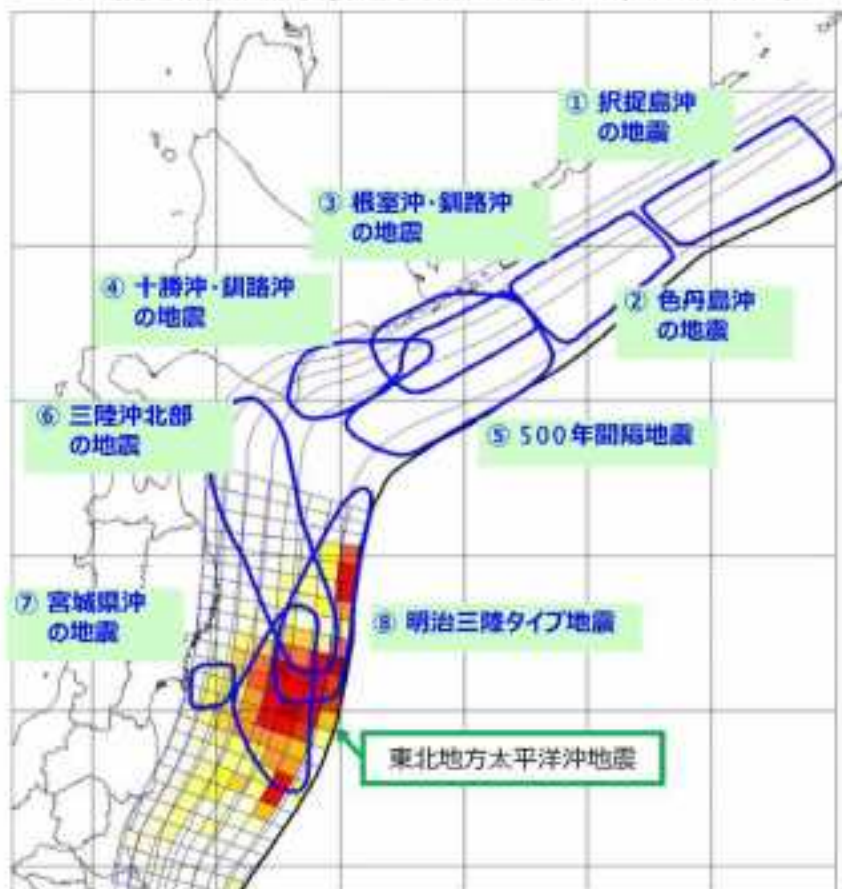
- ・再現に使用する津波堆積物を精査
- ・津波堆積物の地点まで津波を浸水させる断層モデルを逆解析

津波堆積等の調査資料について、これを再現する津波断層モデルを検討

2-②. 内閣府：日本海溝・千島海溝沿いにおける最大クラスの地震の検討対象領域

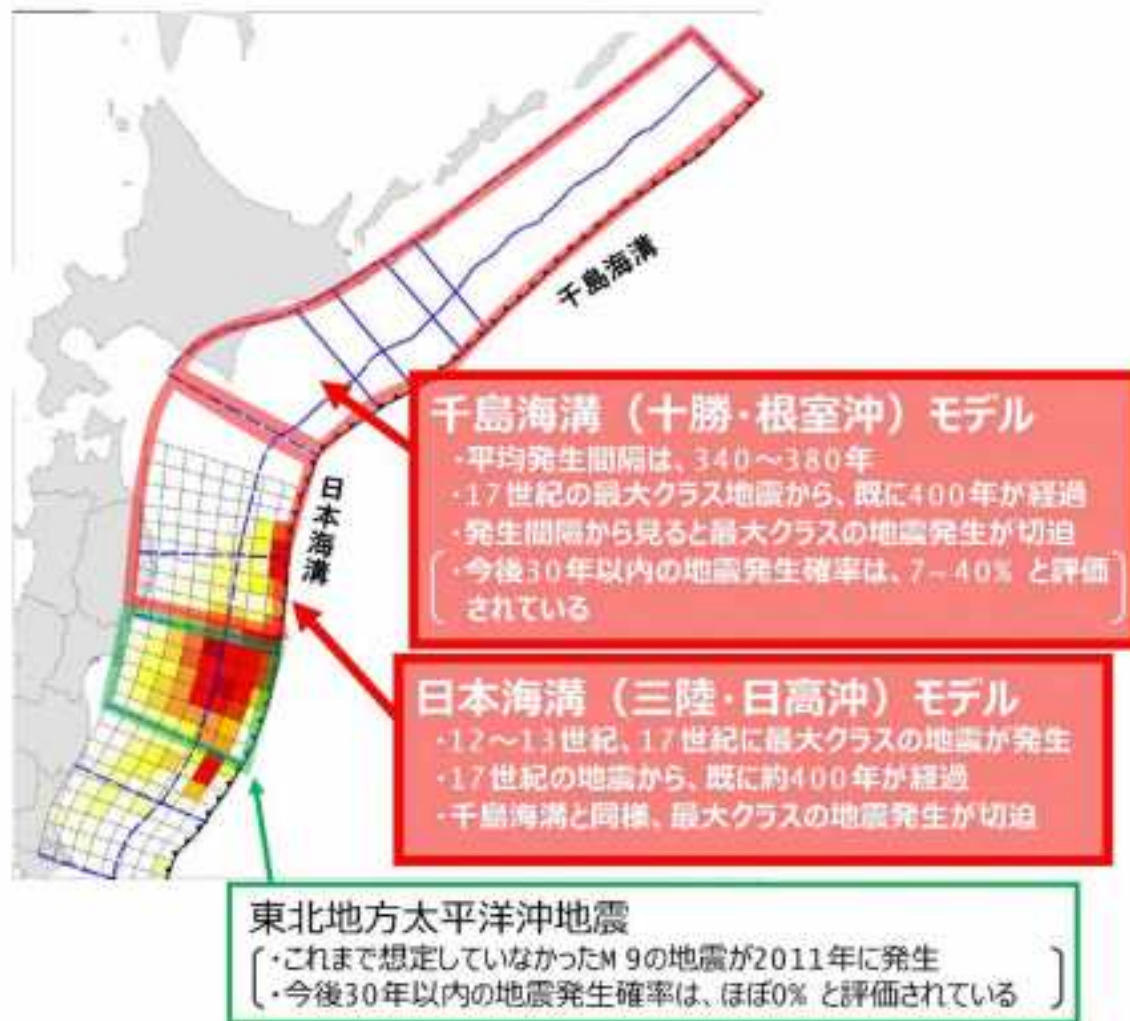
○「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」での検討（平成18年1月公表）

過去に大きな地震が繰り返し発生しているものについては、近い将来発生する可能性が高いと考え、8つの地震を検討対象地震として選定（M 8クラス）



○「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」での検討（検討中）

科学的に想定され得る最大クラスの津波像を想定（M 9クラス）

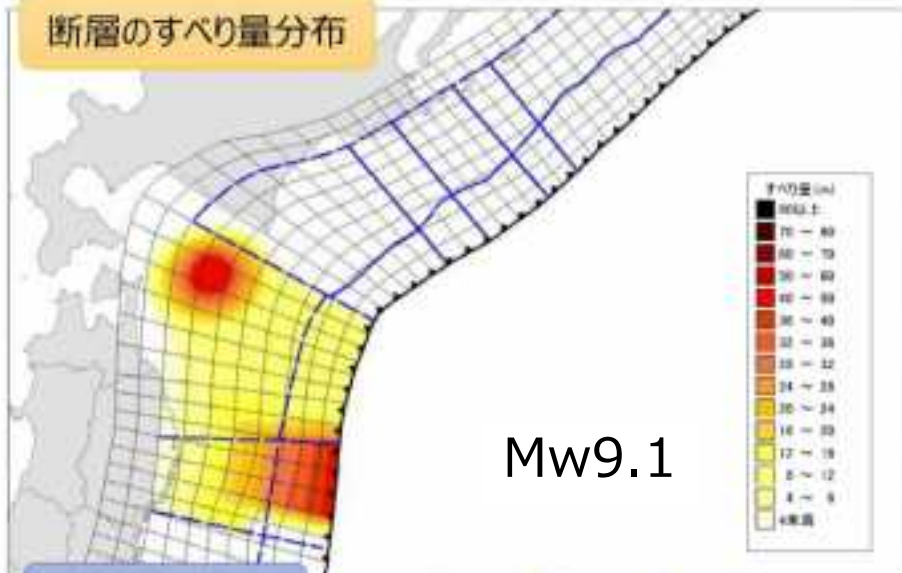


2-③. 内閣府：日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会【最大クラスの津波断層モデル】

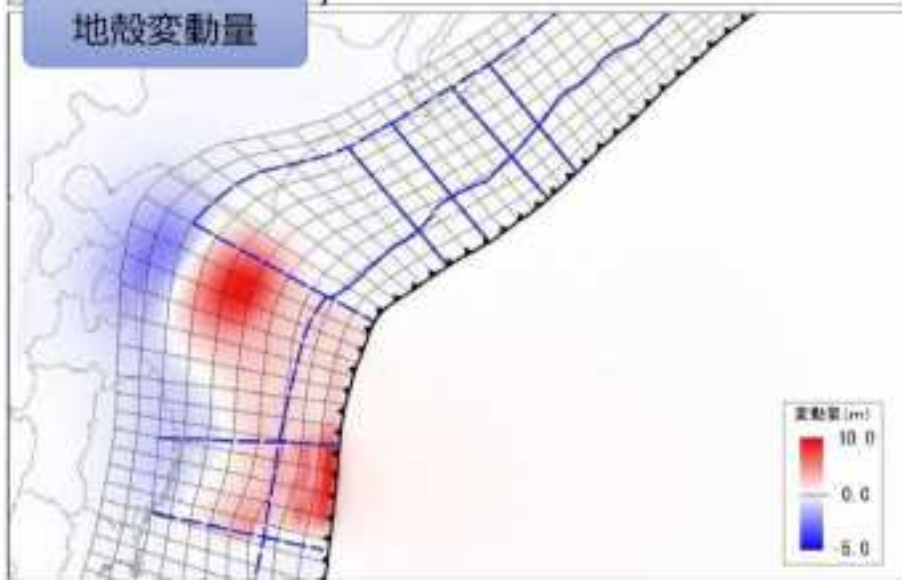
○津波堆積物などのデータを用いて、これらを説明するような津波断層モデルを推定し検討

【①日本海溝（三陸・日高沖）モデル】

断層のすべり量分布

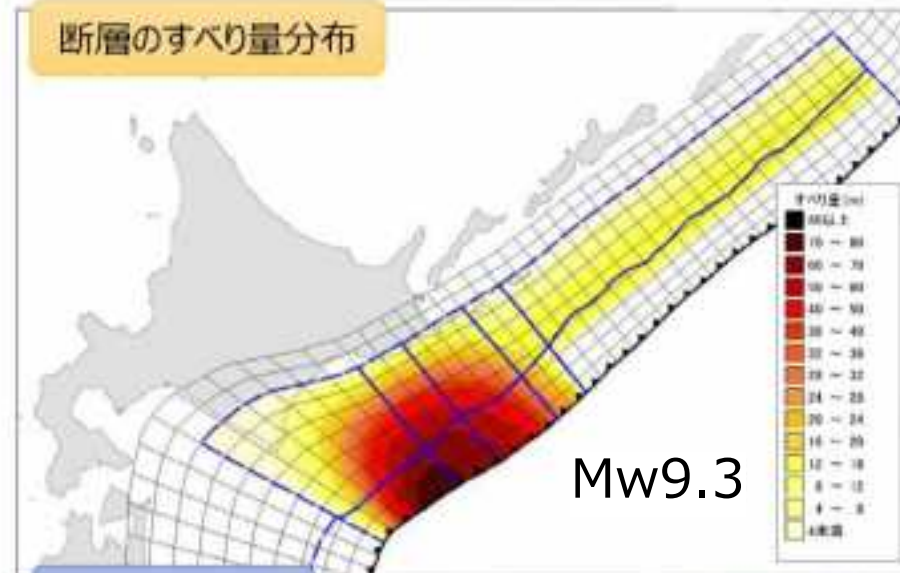


地殻変動量



【②千島海溝（十勝・根室沖）モデル】

断層のすべり量分布



地殻変動量

